

また、順応の生徒に対しては、次のような働きかけをしながら実践した。

- 意図的に指名して、その考えやよい点を級友に知らせる場を設定する。
- 生徒の発表後は、内容の補足やフォローをし、自信をつけさせるようにする。
- 動きを伴う演習では、そばについて一緒に行動する。

演習中の順応生徒（D男、E男）への担任のかかわりは、次のようであった。

【ウォーミングアップの場面で】

《授業のはじめに、D男、E男がリラックスして演習に入りやすいようにするために》

担任が生徒たちの中を巡回し、D男、E男に後ろに倒れた時の感想を聞いたり、肩たたきをし合った。

【例題の実施場面で】

《D男に、自信を持って発表させるために》

担任：「では一つ例題をやってみます。どの季節が一番好きですか。」

（生徒が用紙に記入する。担任は、生徒一人一人に声をかけながら、D男、E男の用紙をのぞき込む。）

担任：D男君は、青（イ）が好きなんだね。

D男：（担任と目を合わせてうなづく。）

担任：なぜ、青（イ）が好きなのか、後でD君にも発表してもらおうかな。

D男：いいですよ。

（E男にも同じように対応。）

担任：「さあ、アイウエの選んだ場所に移動して下さい。」

担任：「では、何人かの人に理由を聞いてみたいと思います。どうしてここを選んだのですか。」

（適応生徒M男に指名後、D男に発表させる。）

D男：さわやかな色で好きなんです。

担任：そうだね。青ってさわやかな色だよな。
（その後、選択肢の異なる生徒にも、発表させる。）

【第4問の場面で】

《発表内容を補足して、自信をつけさせるために》

担任：「第4問です。どんな人と結婚したいですか。さあ、アイウエの選んだ場所に移動して下さい。」

担任：先生は、やさしい人（エ）で待っていますから。

生徒たち：うそー。

担任：D男君は、どう。

D男：先生は、どうしてやさしい人（エ）なの。

担任：結婚して長く生活していくなら、優しくコミュニケーションのスムーズな人が一番だよ。

D男：そうなんですか。

担任：美人な人（ウ）を選んだのは、3人だけなんだけど、D男君はどうして美人な人（ウ）を選んだの。

D男：美人は見ているだけで飽きないから。

担任：そうかあー。美人もいいよね。美人な人（ウ）を選んだのは3人だけなんだけど、D男君が、自分の考えでしっかり行動できたことは素晴らしいよね。

M男：先生、美人は3日で飽きるよ。絶対に、（ア）のほうがいいよ。

担任：M男君は、どうして（ア）のほうがいいと思うの。

M男：美人だとかは、答が一つだけど、（ア）のかわいいには、顔がかわいい、性格がかわいい、スタイルがかわいいと、三つあると思うんですね。

担任・生徒たち：なるほどねー。

（以下省略）